

様式1

令和6年度 第2回学校運営協議会報告書

学校名	鳥取県立米子白鳳高等学校
開催日時	令和6年11月5日 15時から16時まで
会場	鳥取県立米子白鳳高等学校

(1) 学校長挨拶

(2) 学校目標に対する取組について

- ア 社会人講師・学校独自(定通教育充実)事業について (教頭) 【資料1】
- イ 進路状況について (教頭) 【資料2】
- ウ 生徒支援の取組について (教頭) 【資料3】
- エ 自己評価表(中間評価)について (教頭) 【資料4】

アからエの項目について資料を用いて説明、質疑等はなし

(3) 教育活動における取組改善のための提言について～特色ある学校運営について～

委員 地域社会と連携した体験活動に盛んに取り組むことによって、いいふれあいや社会体験、交流ができています。社会に溶け込んでいけるような生徒の育成を進めて欲しい。

委員 自己評価表の評価がよくなったのは良いこと。教育支援については全県をリードする使命が本校にはあるので大事にして行って欲しい。定時制も通信制も廊下で出会っても挨拶ができる生徒が増え、明るくなってきている。先生方もがんばって欲しい。

委員 生徒支援の取組や指導など、授業を見学して感じるころがあった。最近淀江地区の不審者情報があったので、地域や学校で連携して生徒を守っていかなければならない。

委員 生徒支援の面で、多様な生徒に対していい対応をしておられるのではないかと思います。ここ数年、廊下ですれ違う生徒の雰囲気が変わってきている。郷土芸能部ではOGのメンバーが手伝いしてくれる。小中学生、大学生、社会人など異年齢の人とふれあう機会が増えて、いい影響が出ている。

委員 いろいろな学年の生徒がどんぐりこども園の園児たちと交流している。最初は緊張が感じられるが、継続して関わることにより、園児にも生徒にとってもいい影響が出ていると感じられる。多様な生徒がいて、先生方の指導にも苦労があるのだろうと感じている。

委員 昨年と比べて評価が良くなっているのは先生方の努力のおかげ、自信につながると思う。生徒が楽しそうに歩いて登校している。学校が生徒にとって大切な場所となっているから10月入学が増えているのではないかと。また、世の中に貢献できるような場所ができるとボランティア活動などを通じて地域連携が深まっていきいいと思う。

(4) 取組の改善に向けて～質疑応答～

校長 自己評価表のA評価について説明、淀江町内で新たな体験活動などの情報提供の依頼、通信制の全国的な生徒増と生徒像の変化について解説 質疑等はなし

(5) その他

- 創立20周年記念式典 令和6年12月5日(木) 午後1時30分から開催
- 第3回学校運営協議会 令和7年1月25日(土) 定時制学習発表会に合わせて開催
- 定時制課程人権教育公開LHR 令和6年11月22日(金)